

2026年3月25日

NTTドコモビジネス株式会社

NTTドコモビジネスが施設命名権スポンサー契約を締結 ～ベルーナドーム「ライオンズ スイート」の名称を3月31日より変更～

NTTドコモビジネス株式会社（旧 NTTコミュニケーションズ株式会社、以下 NTTドコモビジネス）は、株式会社西武ライオンズ（以下 西武ライオンズ）と、埼玉西武ライオンズの本拠地ベルーナドームにある「ライオンズ スイート」のネーミングライツ（施設命名権）スポンサー契約（以下 本契約）を2026年2月28日に締結しました。

本契約の締結により、2026年シーズン埼玉西武ライオンズのホーム開幕日である2026年3月31日より、「ライオンズ スイート」は新たに『NTTドコモビジネス ライオンズ スイート』として名称を変更します。

1. 背景

近年、スポーツ観戦においては、映像・音響・通信技術を活用した、より臨場感の高い体験価値の提供が求められています。

NTTドコモビジネスは、ベルーナドームにおけるスマートスタジアム化の実現に向け、2021年2月に西武ライオンズとパートナーシップ契約を締結^{※1}しました。以降、ICT活用の基盤となる高速通信ネットワークの整備や、キャッチャーの捕球音を集音し臨場感のある音を演出するためのターゲットマイクの導入、球場ビジョン「L ビジョン」やデジタルサイネージなどの大型機器の導入を実施しました。

さらに、2025シーズンにおいては、「音響XR技術を活用した新しい野球観戦^{※2}」の実現に向けた実証実験にも両社で取り組み、観戦体験の高度化を進めてきました。

2. 本契約の概要

本契約は、これまでの取り組みを踏まえ、両社の連携をさらに強化するものです。NTTドコモビジネスによるベルーナドーム内施設の命名権取得は今回が初めてであり、「ライオンズ スイート」に企業名が冠されるのも初の取り組みとなります。

本契約の締結に伴い、「NTTドコモビジネス ライオンズ スイート」では、スイートルーム内に新たに設置されたタブレット端末を通じて、複数アングル映像をリアルタイムに切り替えながら視聴できる観戦体験^{※3}を提供します。

【ライオンズ スイート 施設命名権スポンサー契約概要】

旧名称	ライオンズ スイート
新名称	NTTドコモビジネス ライオンズ スイート

対象部屋	1950・1979・2019
契約期間	2026年3月1日～2028年2月29日



<NTT ドコモビジネス ライオンズ スイート 1950 イメージ画像>



<NTT ドコモビジネス ライオンズ スイート 1979 イメージ画像>



3. 今後の展開

今後は、次世代ネットワークである IOWN[®] APN^{※4} や AI を活用した新たなエンターテインメントコンテンツを、「NTT ドコモビジネス ライオンズ スイート」へ順次展開していきます。

NTT ドコモビジネスは、ICT とネットワーク技術を生かし、ペルーナドームのスマートスタジアム化をさらに加速させるとともに、これまでにない観戦価値の創出に貢献していきます。

※1: [ニュース 2021 年 3 月 1 日:西武ライオンズと NTT コミュニケーションズ、ICT を活用したスマートスタジアムの実現に向けたパートナーシップ契約を締結](#)

※2: [ニュース 2025 年 5 月 12 日:「音響 XR 技術を活用した新しい野球観戦」の実現に向けた実証実験を実施](#)

※3: [CES 2026 イノベーションアワード受賞技術の「SwipeVideo Live」が西武ライオンズ本拠地ペルーナドームに導入決定 | AMATELUS のプレスリリース](#)

※4: IOWN[®] APN とは、NTT が提唱するオールフォトニクスネットワーク(APN)の一環で、従来の電気信号ではなく光信号を用いて超低遅延かつ高速な通信を実現する次世代のネットワーク技術です。「IOWN[®]」は NTT 株式会社の商標または登録商標です。

「NTT コミュニケーションズ株式会社」は 2025 年 7 月 1 日に社名を「NTT ドコモビジネス株式会社」に変更しました。私たちは、企業と地域が持続的に成長できる自律・分散・協調型社会を支える「産業・地域 DX のプラットフォーム」として、新たな価値を生み出し、豊かな社会の実現をめざします。

つながり。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

<https://www.ntt.com/about-us/nttdocomobusiness.html>